



平成 25 年 1 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社 クリムゾン  
(JASDAQ・コード番号：2776)  
代表者名 代表取締役社長 姚 健  
問合せ先 専務取締役 児玉俊明  
電 話 03-5637-0505

平成 25 年 1 月期業績予想(非連結)の修正に関するお知らせ

当社は平成 24 年 7 月 27 日に公表いたしました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 25 年 1 月期 (平成 24 年 2 月 1 日～平成 25 年 1 月 31 日)

(1) 業績予想 (非連結) の修正

(単位:百万円 %)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	2,244	52	15	15	円 銭 3,339.03
今回修正予想 (B)	1,891	△9	△88	△40	△1,005.96
増 減 額 (B-A)	△353	△61	△103	△55	
増 減 率	△15.7	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 24 年 1 月期)	2,641	△201	△199	△248	円 銭 △10,284.26

2. 業績予想の修正理由

当事業年度におけるカジュアルウェア市場におきましては、天候不順等による消費マインドの低下や、生活防衛意識の高まりなどの影響による節約・低価格志向等依然として慎重な消費行動が続くなど、厳しい市場環境の中での推移となりました。

このような状況の中、当社におきましては、基幹事業であります卸売事業で「T&C Surf Designs」(タウン&カントリー)及び「RUSS-K」(ラスケー)等ブランド商品の主力得意先への提案の強化を行い販売活動に努めました。しかしながら、晩夏から初秋にかけての残暑等の天候不順により本格的な秋シーズンを迎えることなく冬が到来した為、主力シーズンアイテムであります、長袖 T シャツやトレーナー・パーカーといった当社が得意としているスエット素材の商品アイテムが当初の販売計画数を下回り、プロパー(正規品)の販売率も低下しました。また、冬シーズンではセール品や福袋などの販売で売上額の拡大を図るとともに、仕入先の変更等により売上原価を削減し売上高総利益の確保に努めました。

販売価格の低下等もあり売上高の減少分を補うことができそうにありません。その結果卸売事業においては売上高及び売上総利益が計画が下回る見通しとなりました。

小売事業では、引き続きアウトレット店舗でのプロパー商品及びキャリー商品の販売を積極的に行い、また店外催事の開催等により在庫の圧縮に努めました。セール販売により販売単価は下落したものの、販売数量は当初計画を上回り、結果、売上高及び売上総利益は概ね想定内となりました。

ライセンス事業では、卸売事業とのシナジー効果を高めることを目的に、サブライセンサー各社との協議を行い、新たなビジネスモデルの構築を推進してまいりました。しかしながら既存のビジネスにおいて、市場マインドの冷え込みから低価格志向が強まり、大手GMS等の商品開発によるPB化の影響もあり苦戦をいたしました。

一方、販売費及び一般管理費につきましては、諸経費削減等による費用の圧縮に努め計画を下回る推移となりました。

しかしながら、卸売事業での売上高の減少による売上総利益の減少を販売費及び一般管理費の削減ではカバーすることが難しい見込みです。また、昨今の急激な円安により米ドル建ての取引に為替差損の発生が見込まれ営業外費用も膨らむ可能性があります。その結果、本日付で別途開示しております関連会社の出資持分の譲渡に伴う特別利益が有るものの、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益は前回予想を下回る見通しとなりました。

※本業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上